

1 SDGs達成の担い手育成

とは

「地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付けるための教育」です。全てのSDGs達成に大きく関係し、これからの学校教育の根幹になるものです。横浜市では平成28年度から文部科学省の指定を受け、ESDを推進しています。

2 本事業の目標

児童生徒が「持続可能な社会の創り手」になることです。その指標として、横浜市生活・学習意識調査において「学習を通して見いだした地域や社会の課題を自分たちで解決できると思いますか」という設問を設定しています。

横浜市生活・学習意識調査において
「学習を通して見いだした地域や社会の課題を自分たちで解決できると思う」と回答した児童生徒の割合

	R4	R5
小学校4～6年生	69.3%	70.4%
中学生	62.1%	64.7%

3 本事業の内容

総合的な学習の時間や児童会生徒会活動などを通してSDGs達成の担い手育成(ESD)に積極的に取り組んだり、ESDの視点を用いて学校経営を進めたりしているESD推進校(R6は24校)を中心に、教職員の情報交換会を定期的に行い、児童生徒が参加するステークホルダー交流会やオンライン交流会、子どもエコフォーラム、年度末の交流報告会を実施しています。

4 SDGs達成の担い手育成の取組状況

学校現場で潜在的に行っていたことを、意図的・計画的に取り組む学校が増えてきた結果、小学校、中学校ともに取組状況が100%になりました。また、学校全体で取り組もうとする「ホールスクール・アプローチ」が広がってきています。

5 SDGs達成の担い手育成で大切にしていること

- ・SDGsの理念
「Think globally, Act locally.
No one will be left behind.」
- ・地域・企業・NPOなどの多様なステークホルダーと連携・協働すること
- ・地域・社会に働きかけたり、地域・社会の変容を促したりすること
- ・個人の変容と地域・社会の変容を連動して捉えること
- ・学校全体で取り組むこと(ホールスクール・アプローチ)



5 R6のESD推進校一覧 (24校)

【小学校】 ・永田台小学校 ・幸ヶ谷小学校 ・みなとみらい本町小学校 ・三保小学校 ・下末吉小学校 ・旭小学校 ・羽沢小学校 ・本牧南小学校 ・初音が丘小学校 ・中尾小学校 ・大門小学校 ・永野小学校 ・小机小学校 ・恩田小学校	【中学校】 ・市ヶ尾中学校 ・保土ヶ谷中学校 ・新井中学校 ・希望が丘中学校 ・南希望が丘中学校 ・西柴中学校 ・西本郷中学校 ・中川西中学校
	【高等学校】 ・東高等学校
	【義務教育学校】 ・緑園学園

担当：教育委員会事務局
学校教育企画部
小中学校企画課